

ようこそ、宇宙の入り口へ

《開幕》宇宙と芸術展：かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ

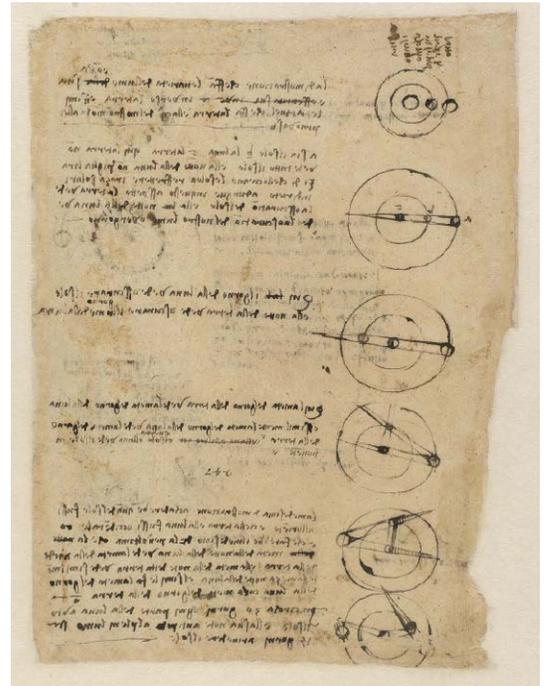
—ダ・ヴィンチがとらえた宇宙とは？かぐや姫は宇宙人だったのか？
人類はいかに宇宙時代を生きるのか？—

森美術館は、2016年7月30日(土)から2017年1月9日(月・祝)まで、「宇宙と芸術展：かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ」を開催いたします。

宇宙は古来、人間にとって永遠の関心事であり、また信仰と研究の対象として世界各地の芸術のなかで表現され、多くの物語を生み出してきました。本展は、人類が問い続けてきた「宇宙とは何か、我々は何者か」という永遠の命題を、現代における芸術・文化的視点で紐解き、人類の未来を探る壮大な試みです。

「人は宇宙をどう見てきたか?」、「宇宙という時空間」、「新しい生命観—宇宙人はいるのか?」、「宇宙旅行と人間の未来」の4つのセクションを通して、太陽系46億年の歴史を宿した隕石や地球史を物語る化石、天才レオナルド・ダ・ヴィンチやガリレオ・ガリレイの貴重な天文学手稿、東洋的宇宙観をあらわす曼荼羅や日本最古のSF小説ともいわれる「竹取物語」の絵巻、現代アーティストたちによる宇宙を体感できるインスタレーション、そして宇宙開発の最前線に至るまで、古今東西ジャンルを超えた多彩な出展物約200点を一挙公開します。

2016年夏、いよいよ六本木から宇宙への旅がはじまります。



レオナルド・ダ・ヴィンチ
《アトランティコ手稿 554v》
1513年頃 インク、紙 27.5 x 20.5cm
所蔵：アンブロジーアーナ図書館・絵画館、ミラノ
© Veneranda Biblioteca Ambrosiana – Milano/De Agostini Picture Library



「竹取物語絵巻」(第三巻)(武田本)
江戸時代前期 卷子
33×約1440 cm
所蔵：國學院大學図書館、東京



チームラボ
《追われるカラス、追うカラスも追われるカラス、そして衝突して咲いていく - Light in Space》
2016年 インタラクティブ・デジタル・インスタレーション 4分20秒
サウンド：高橋英明

プレスリリース 広報お問い合わせ 「宇宙と芸術展」広報事務局 担当：金、森、浜木
Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE_ART@vectorinc.co.jp

■ 開催概要

展覧会名: 宇宙と芸術展 :かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ

主催: 森美術館、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社

企画: 南條史生(森美術館館長)、椿 玲子(森美術館アソシエイト・キュレーター)

企画協力: 龍谷大学 龍谷ミュージアム、金沢工業大学ライブラリーセンター

助成: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ

協賛: NEC、株式会社大林組、IHI 運搬機械株式会社

特別協力: 宇宙航空研究開発機構(JAXA)

制作協力: パナソニック株式会社

協力: 日本貨物航空株式会社、シャンパーニュ ポメリー

会期: 2016年7月30日(土) - 2017年1月9日(月・祝)

会場: 森美術館 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53F

開館時間: 10:00 - 22:00 | 火10:00 - 17:00 *「六本木アートナイト2016」開催に伴い、10/21(金)は翌朝1:00まで、10/22(土)は翌朝6:00まで *いずれも入館時間は閉館時間の30分前まで *会期中無休

入館料: 一般1,600円、学生(高校・大学生)1,100円、子供(4歳~中学生)600円

*表示料金に消費税込 *展望台 東京シティビュー、屋上スカイデッキへは別途料金がかかります。

一般のお問い合わせ: Tel: 03-5777-8600(ハローダイヤル) **森美術館ウェブサイト:** www.mori.art.museum

作品の展示替えについて 本展では、作品の展示替えがあります。詳細は森美術館ウェブサイトをご覧ください。



トム・サックス
《ザ・クローラー》
2003年
フォーム、接着剤、木、金属製フレーム
185.4×61×101.6 cm(シャトル) 114.3×200.7×171.5 cm(台)
Courtesy: Galerie Thaddaeus Ropac, Paris/Salzburg 撮影: Philippe Servent



ネリ・オックスマン
《カマル、月を彷徨う人》
2014年
所蔵: ストラタシス
撮影: Yoram Reshef

プレス画像の申請については、下記へお問い合わせください。

「宇宙と芸術展」広報事務局(プラチナム内) 担当: 金、森、浜木

Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE_ART@vectorinc.co.jp

プレスリリース 広報お問い合わせ 「宇宙と芸術展」広報事務局 担当: 金、森、浜木

Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE_ART@vectorinc.co.jp

■ 各セクションの見どころ

[SECTION 1] 人は宇宙をどう見てきたか？

人間が宇宙をどのように見てきたかという歴史的な宇宙観の一端を、東西の神話・宗教美術作品や貴重な天文学資料等を通して紹介します。

出展作家

北山善夫、北脇 昇、前田征紀、向山喜章 ほか

出展物

レオナルド・ダ・ヴィンチ、ガリレオ・ガリレイの天文学手稿、星曼荼羅、両界曼荼羅、十二天像、チベット曼荼羅、竹取物語絵巻、流星刀、天球図、天球儀、天体望遠鏡、暦等、ルネッサンスや江戸時代の貴重な天文学資料 ほか

宇宙を仏教的観点から紐解く。

多元宇宙を表す古来の宇宙像「曼荼羅」

南北朝時代、室町時代に描かれた両界曼荼羅や星曼荼羅、方位に宿る神々を描いた十二天像、チベット曼荼羅などを展示。アジア的な世界観や仏教的観点から見た宇宙像を探ります。

鉄の隕石から作られた伝説の刀「流星刀」

明治時代、富山県に流れ落ちた隕鉄と呼ばれる鉄の隕石から作られた日本刀「流星刀」を展示。



《両界曼荼羅》鎌倉時代(14世紀) 双幅、絹本着色
各235.5 x 197.2 cm 所蔵：三室戸寺、京都



岡吉国宗《流星刀》1898年 隕鉄 刃長68.6cm 反り1.5cm
所蔵：東京農業大学図書館 撮影：木奥恵三

[SECTION 2] 宇宙という時空間

星さえも吸い込むブラックホール、今眺めている星の光が何億光年も彼方から放たれている事実、11次元あるといわれる宇宙空間の不思議、さらに私たちの時空認識を刷新した天体観測技術の驚くべき進歩等が、現代美術の作品等によって表現されます。

出展作家

ヴィヤ・セルミンズ、ジョゼフ・コーネル、ビョーン・ダーレム、アンドレアス・グルスキー、ジア・アイリ(贾蕩力)、森万里子、トレヴァー・パグレン、セミコンダクター、コンラッド・ショウクロス、ヴォルフガング・ティルマンズ

現代美術のスターたちが表現するそれぞれの宇宙

巨大なブラックホールを中心に回る銀河系、多元宇宙理論などを表現したビョーン・ダーレムの大型インスタレーション、コンピュータ画面のピクセルとなった超高感度の天体望遠鏡がとらえた深宇宙の星々を、マクロとミクロが交差するイメージとしてとらえたヴォルフガング・ティルマンズの写真作品等、さまざまな宇宙観が展示されます。



ヴォルフガング・ティルマンズ
《金星の日面通過》
2012年
紙にインクジェットプリント
40.5 x 30.5 cm
所蔵：ワコウ・ワークス・オブ・アート



ビョーン・ダーレム 《ブラックホール(M-領域)》2008年
木、スチール、蛍光灯、電球、塗料 サイズ可変
撮影：プレイス・アディロン
画像提供：サーチ・コレクション、ロンドン

プレスリリース

広報お問い合わせ 「宇宙と芸術展」広報事務局 担当：金、森、浜木

Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE_ART@vectorinc.co.jp

[SECTION 3] 新しい生命観－宇宙人はいるのか？

隕石・化石等の人間史を超えた地球史を起点として、江戸時代のUFO伝説ともいわれる「うつろ舟の蛮女」から、人間が想像してきた宇宙人像、更には最先端の遺伝子工学やA.I. 技術等について言及する作品を紹介します。

出展作家

ヴァンサン・フルニエ、ローラン・グラッソ、ピエール・ユイグ、
パトリシア・ピッチニーニ、瀬戸桃子、空山 基、杉本博司

出展物

隕石、化石、「うつろ舟の蛮女」に関する資料、荒俣 宏SF雑誌コレクション、
ダーウィンの『種の起源』初版本 など

セクシーでメカニカルな女性を造形し、世界中のクリエイターから注目を集める空山 基の《セクシーロボット》

エアロスミスアルバム「Just Push Play」でアルバムジャケットにも使用され、イラストレーターとして世界的に高く評価されている空山基の立体作品が登場します。



パトリシア・ピッチニーニ
《ザ・ルーキー》 2015年
ファイバーグラス、シリコン、
毛 48 x 65 x 46 cm
作家蔵
Courtesy: Tolarno Galleries,
Melbourne; Roslyn Oxley9
Gallery, Sydney;
Hosfelt Gallery, San Francisco



空山 基
《セクシーロボット》
2016年
FRP、鉄、金・銀メッキ調塗料、
LEDネオンライト
182 x 60 x 60 cm
Courtesy: NANZUKA
撮影: Tanaka Shigeru

[SECTION 4] 宇宙旅行と人間の未来

宇宙旅行時代到来間近の今、これからの人間と宇宙の関係や、人間の生き方はどう変わっていくのかという問題について、アーティストのビジョンを紹介し、未来を描きます。また、米ソの宇宙開発の歴史やJAXAの「きぼう」文化・人文社会科学利用パイロットミッション参加作品、《マーズ・アイス・ハウス》、HAKUTO等、宇宙開発の最前線を展示します。

出展作家

ジュール・ド・バランクール、マリア・グルズデヴァ、野村 仁、逢坂卓郎、
ネリ・オックスマン、トム・サックス、チームラボ ほか

出展物

コンスタンチン・ツィオルコフスキーの手稿(複製)、宇宙飛行士ガガーリン、テレシュ
コワ、アームストロングの写真、マーズ・アイス・ハウス、HAKUTO ほか

「宇宙開発の父」コンスタンチン・ツィオルコフスキーの描いたスケッチ(複製)

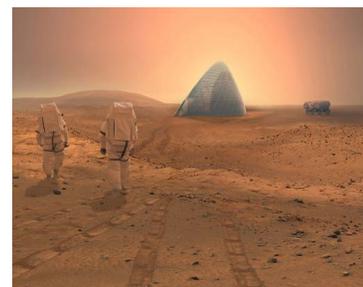
ロケット理論や宇宙航空学のパイオニアとしてロシアの宇宙開発に貢献し、SF
小説家でもあった、科学者ツィオルコフスキーのインスピレーション溢れるス
ケッチを展示します。

人間の未来の住居、 火星での仮想住居《マーズ・アイス・ハウス》の模型

NASAが2030年代に宇宙飛行士4名を火星に1年間滞在させて探索を行う計
画に向けて実施した、火星住居設計コンペティションで一位に輝いた、曾野正
之・祐子を含むNYの建築家チームの仮想住居模型を日本初公開。人間の未来の
生活の在り方を提示します。



コンスタンチン・ツィオルコフス
キー
手稿(『宇宙旅行アルバム』より)
1933年
鉛筆、紙
31.1 x 22.7 cm
所蔵: ロシア科学アカデミー
アーカイブ(ARAS)
ARAS. F. 555. File 84. Sheet
15.



スペース・エクスプロレーション・アーキテクチャ・アンド・クラ
ウス・アーキテクチャ・オフィス
《マーズ・アイス・ハウス》
2015年 3Dプリント模型、台座に内照ライト、映像
作家蔵
画像提供: Clouds AO/SEArch

プレスリリース

広報お問い合わせ 「宇宙と芸術展」広報事務局 担当: 金、森、浜木

Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE_ART@vectorinc.co.jp

❓ 展覧会関連パブリックプログラム

■ トークセッション「知と宇宙観をめぐる旅」 ※日英同時通訳付

天動説が主流であり、望遠鏡のない時代、レオナルド・ダ・ヴィンチがすでに天文学に興味を抱いていたことを、本展に出展されるアトランティコ手稿から知ることができます。アトランティコ手稿を所蔵するアンブロジーアーナ図書館・絵画館のアルベルト・ロッカ氏にその来歴について伺うとともに、科学の貴重な初版本を所蔵し、研究する金沢工業大学ライブラリーセンターの竺覚暁氏を迎え、宇宙科学が発達する以前の宇宙観について語り合います。

出演: アルベルト・ロッカ(アンブロジーアーナ図書館・絵画館館長)

竺 覚暁(金沢工業大学ライブラリーセンター館長)

モデレーター: 南條史生(森美術館館長)

日時: 2016年7月30日(土)14:00-16:00(開場:13:30)

会場: 森美術館オーデトリウム **定員:** 80名(要予約) **料金:** 無料(要展覧会チケット)

お申し込み: 受付は終了しました。



アルベルト・ロッカ



竺 覚暁

■ アーティストトーク ※日英逐次通訳付

出展アーティストが展示室内で、自作と宇宙との関係性について語ります。

出演: ビョーン・ダーレム、コンラッド・ショウクロス、セミコンダクター、
ジア・アイリ(賈蕩力)、パトリシア・ピッチニーニ、
マリア・グルズデヴァ

日時: 2016年7月30日(土)

18:00-20:00(受付開始:17:45)

会場: 森美術館展示室内 **定員:** 30名(要予約)

料金: 無料(要展覧会チケット)

*本プログラムは着席型ではなく展示室内でのトークへ変更となりました。

お申し込み: 受付は終了しました。



ビョーン・ダーレム



セミコンダクター



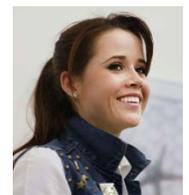
コンラッド・ショウクロス



ジア・アイリ(賈蕩力)



パトリシア・ピッチニーニ
撮影: Alli Oughtred



マリア・グルズデヴァ

■ シンポジウム「科学者と読み解く『宇宙と芸術展』」 ※日英同時通訳付、手話同時通訳付

宇宙時代に突入した現代、人と宇宙の関係は大きく変化しています。これにより、宇宙とはなにか、芸術とはなにかという問いにも新たな視点が求められてくることでしょうか。人はどのように宇宙を認識し、芸術はどのように変貌していくのでしょうか。宇宙工学、天文学の専門家、アーティストを迎え、本展をそれぞれの視点から読み解きます。

出演: 的川泰宣(宇宙航空研究開発機構(JAXA)名誉教授)、

渡部潤一(国立天文台副台長・教授)、

野村 仁(アーティスト)、猪子寿之(チームラボ代表)

モデレーター: 南條史生(森美術館館長)

日時: 2016年8月20日(土)14:00-16:00(開場:13:30)

会場: アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階)

定員: 300名(要予約) **料金:** 一般3,500円、MAMCメンバー無料

*当日プログラム参加者の方に展覧会チケット1枚を差し上げます。

主催: 森美術館、アカデミーヒルズ

お申し込み: 森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum



的川泰宣



渡部潤一



野村 仁
協力: JAXA



猪子寿之

プレスリリース 広報お問い合わせ 「宇宙と芸術展」広報事務局 担当: 金、森、浜木

Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE_ART@vectorinc.co.jp

■トークセッション「芸術のなかの宇宙観」 ※日本語のみ

仏教の世界観を描いた曼荼羅図は、宇宙の真理を表わすとも言われます。仏教絵画史の専門家である泉武夫氏、空海から現代アートまで造詣の深い篠原資明氏を迎え、お話をうかがうと共に、そのミニマルな作品が現代の曼荼羅を想わせる向山喜章氏、神秘思想などを自身の体験に基づいて表現する前田征紀氏を交え、時代を超えて人の心に宿る宇宙観と芸術について語り合います。

出演：泉 武夫(東北大学大学院文学研究科教授)

篠原資明(高松市美術館館長、京都大学名誉教授)

向山喜章(アーティスト)、前田征紀(アーティスト)

モデレーター：椿 玲子(森美術館アソシエイト・キュレーター)

日時：2016年10月4日(火) 19:00-21:00 (受付開始:18:30)

会場：森美術館オーデトリウム **定員：**80名(要予約) **料金：**無料(要展覧会チケット)

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

*森美術館は17:00で終了し、18:30よりお申し込みいただいた方のみ再オープンします。



泉 武夫



篠原資明



向山喜章



前田征紀

撮影: Homma Takashi

◆「森美術館×六本木天文クラブ」コラボレーション 小中学生プログラム

■サマーナイト・ミュージアム「“宇宙と芸術展”と“星空”をみよう!」 ※日本語のみ

夜の森美術館を貸し切り、「宇宙と芸術展」を美術館スタッフと一緒に鑑賞して、星に関する専門家から話を聞いたあと、森タワーの屋上スカイデッキから星空を観望しましょう。夜のミュージアムで、宇宙のふしぎと芸術に想いをはせてみませんか?

出演：高梨直紘(東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム特任准教授、天文学普及プロジェクト「天プラ」代表)

日時：2016年8月9日(火) 18:00-21:00 (受付開始:17:30)

会場：森美術館オーデトリウム、東京シティビュー「スカイデッキ」

対象：小学生~中学生 **定員：**40名(要予約、抽選)

料金：無料(要展覧会チケット及びスカイデッキ入場料)

お申し込み：受付は終了しました。

*森美術館は17:00で終了し、17:30よりお申し込みいただいた方のみ再オープンします。



高梨直紘

■星のおはなしとワークショップ「天体望遠鏡をつくろう」 ※日本語のみ

「宇宙と芸術展」を鑑賞して、月のクレーターや土星のリングも見える本格派天体望遠鏡をつくります。組み立てから使い方、星空の見どころまでを天文の専門家がわかりやすく教えます。

日時：2016年8月26日(金) 17:00-20:00 (受付開始:16:30)

会場：森美術館オーデトリウム、東京シティビュー「スカイデッキ」

対象：小学生~中学生 **定員：**40名(要予約、抽選)

料金：3,000円(材料費) ※別途、展覧会チケット及びスカイデッキ入場料が必要です。

監修：天文学普及プロジェクト「天プラ」

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

申込期間2016年7月20日(水)~8月2日(火)、抽選結果は2016年8月3日(水)~5日(金)にメールにてご連絡いたします。

*星空の観望は天候により中止の可能性があります。その場合、スカイデッキ入場料(大人500円、中学生以下300円)は不要です。

*夜のプログラムとなりますので、保護者同伴でご参加ください。

プレスリリース 広報お問い合わせ 「宇宙と芸術展」広報事務局 担当: 金、森、浜木

Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE_ART@vectorinc.co.jp

JAXAタウンミーティング in 森美術館

「宇宙探査の最前線—人々を魅了し続けた宇宙の「今」に迫る—」 ※日本語のみ

人々を惹きつけ、魅了してきた宇宙。その影響は、科学技術の進歩だけでなく、アートや宗教など様々なフィールドに及んでいます。人々が憧れ、見上げる存在だった宇宙は、今やそこへ行くことが可能な時代になりました。「宇宙と芸術展」の紹介も交えながら、宇宙のフロンティアに挑み続ける探査を通じ、なぜ人々は宇宙を目指すのか、宇宙の「今」に迫ります。

出演: 國中 均(JAXA宇宙科学研究所宇宙飛行工学研究系教授、JAXA宇宙探査イノベーションハブ ハブ長)、
椿 玲子(森美術館アソシエイト・キュレーター)

進行コーディネーター: 庄司義和(JAXA広報部長)

日時: 2016年11月8日(火) 19:00-20:30 (受付開始: 18:30)

会場: 森美術館オーデトリウム

対象: 高校生以上 **定員:** 80名(要予約) **料金:** 無料

主催: 森美術館、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)

お申し込み: 後日、森美術館ウェブサイトにて受付を開始します。



國中 均

* 森美術館は17:00で終了し、18:30よりお申し込みいただいた方のみ再オープンします。

* プログラム終了後20:30より22:00までの間、貸切りにて本展をご鑑賞いただけます。本展の鑑賞を希望する方は、展覧会鑑賞料金[一般1,600円 学生(高校生・大学生)1,100円 子供(4歳~中学生)600円]を申し受けます。

* より詳細なプログラム情報は、後日森美術館ウェブサイトにて公開いたします。

JAXAタウンミーティングとは—

宇宙航空研究開発機構(JAXA)が、一般の皆様と宇宙・航空の研究開発について語り合う意見交換の場です。出席される方は1人1人が意見を自由に述べることもでき、JAXAからも意見を出していきます。このような意見のやりとりの積み重ねによって、将来の宇宙開発や宇宙科学研究、航空技術開発につながるアイデアや方針ができていくことを願い、過去120回以上にわたり開催されているイベントです。

詳しくはこちら <http://fanfun.jaxa.jp/event/townmeeting/>

森美術館×日本フィルハーモニー交響楽団 音楽ワークショップ EYES & EARS Vol.1 「宙・時+音 Space-Time and Sound」 ※日英逐次通訳付

夜の美術館で、本展の出展作品に向き合い、宇宙への想いを膨らませながら、アートと音楽への旅に出かけませんか。現代音楽の作曲家、湯浅譲二にとって音や時間、宇宙空間の探究は、その実験的な音楽活動の核心でした。イメージと音と宇宙のつながりを探る予想外のアプローチで、実際に楽器に触れながら、未知の体験をお楽しみください。

講師: マイケル・スペンサー(日本フィルハーモニー交響楽団コミュニケーション・ディレクター)、
日本フィルハーモニー交響楽団ファシリテーター

日時: 2016年11月22日(火) 18:30-21:30 (受付開始: 18:00)

会場: 森美術館展示室内

対象: 高校生以上 **定員:** 40名(要予約・抽選)

料金: 高校生以上2,000円、MAMCメンバー、日本フィル東京定期会員無料

主催: 森美術館、公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

お申し込み: 2016年9月1日(木)より、森美術館ウェブサイトにて受付を開始します。

* 森美術館は17:00で終了し、18:00よりお申し込みいただいた方のみ再オープンします。

* 本プログラムは、日本フィルハーモニー交響楽団第686回東京定期演奏会<秋季>[12月9日(金)、10日(土)]との連携企画です。

詳しくはこちら http://www.japanphil.or.jp/concert/detail_345.html#infoBox01



マイケル・スペンサー

プレスリリース 広報お問い合わせ 「宇宙と芸術展」広報事務局 担当: 金、森、浜木

Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE_ART@vectorinc.co.jp

■キュレーターによるギャラリートーク ※日本語のみ

本展担当キュレーターが、展示室内でツアー形式のトークを行います。

出演: 椿 玲子(森美術館アソシエイト・キュレーター)

日時: 2016年8月10日(水) 19:00-20:00
2016年9月21日(水) 19:00-20:00

会場: 森美術館展示室内 **定員:** 各回30名 **料金:** 無料(要展覧会チケット)

お申し込み: 不要(当日先着順、展覧会場入口にお集まりください)

■ギャラリートーク ※日本語のみ

森美術館スタッフが、展示室内でツアー形式のトークを行います。

日時: 2016年 8月31日(水) 14:00-15:00
2016年11月 2日(水) 19:00-20:00
2016年11月30日(水) 14:00-15:00
2016年12月14日(水) 19:00-20:00

会場: 森美術館展示室内 **定員:** 各回15名 **料金:** 無料(要展覧会チケット)

お申し込み: 不要(当日先着順、展覧会場入口にお集まりください)

■英語によるギャラリートーク ※英語のみ

森美術館スタッフが、英語によるツアー形式のトークを行います。

日時: 2016年10月12日(水) 19:00-20:00

会場: 森美術館展示室内 **定員:** 15名 **料金:** 無料(要展覧会チケット)

お申し込み: 不要(当日先着順、展覧会場入口にお集まりください)

ファミリープログラム

■おやこでアート ファミリーアワー ※日本語のみ

0歳から6歳のお子さまと一緒に、森美術館へ出かけませんか?開館前の美術館を貸し切り、小さなお子さまと安心してご鑑賞いただけます。現在妊娠中のプレママもご参加いただけます。ご家族との週末の楽しみに、子どもたちとの交流に、子育ての情報交換に、「宇宙と芸術展」を楽しみながらそれぞれにお過ごしください。

日時: 2016年10月 1日(土) 9:30-10:30
2016年11月26日(土) 9:30-10:30

対象: 未就学児(0~6歳)とご家族、現在妊娠中の方とご家族

定員: 80組(要予約・先着順)

料金: 各回無料(要展覧会チケット)

お申し込み: 森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

*ベビーカーや抱っこひもで赤ちゃんと一緒に自由にご鑑賞ください。

*9:35、9:55より、美術館スタッフが展示室内でいくつかの作品をご紹介します。参加をご希望の方は展示室入口にお集まりください。

*10:00より一般のお客様も入館します。ご了承ください。

プレスリリース

広報お問い合わせ 「宇宙と芸術展」広報事務局 担当: 金、森、浜木

Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE_ART@vectorinc.co.jp

アクセスプログラム

■ 耳でみるアート ※日本語のみ

視覚に障がいがある方を対象とした、スタッフとの対話を通して作品を楽しむツアーです。
本プログラムは見える見えないにかかわらず、どなたでもご参加いただけます。

日時：2016年12月3日(土)10:30-12:00

対象：一般 **定員**：10名(要予約) **料金**：無料(要展覧会チケット)

お申し込み：2016年9月1日(木)より、森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum、または、電話(03-6406-6101)にて受付を開始します。

■ 手話ツアー ※日本語のみ

手話と言葉で展覧会を楽しむツアーです。手話をお使いにならない方も気軽にご参加ください。

日時：2016年 9月 9日(金) 19:00-20:00

2016年12月 3日(土) 15:00-16:00

対象：一般 **定員**：各回10名(要予約) **料金**：無料(要展覧会チケット)

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum、または、FAX(03-6406-9351)

学校プログラム

■ 学校と美術館のためのプログラム ※日本語のみ

展覧会の紹介とともに、アートと子どもたちの学びについて先生と美術館スタッフがディスカッションします。中世の天文学資料から現代アートまで幅広く紹介する本展から、どのような好奇心を育むことができるでしょうか。図工や美術のみならず、他教科の先生もぜひご参加ください。

日時：2016年9月21日(水) 19:00-21:30

[スケジュール] 19:00-20:00 「キュレーターによるギャラリートーク」に参加

20:00-21:30 ディスカッション

対象：保育園、幼稚園、小・中学校、高校、大学、専門学校の先生 **定員**：15名程度(要予約) **料金**：無料

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

■ とびだす学校ツアー ※日本語のみ

作品鑑賞を子どもたちや学生たちの学びに取り入れてみませんか?授業などの一環として展覧会をご覧いただくツアーです。
希望日の4週間前までに下記へお問い合わせください。事前に先生とご相談のうえ、日程や内容を決定します。

対象：保育園、幼稚園、小・中学校・高校、大学、専門学校

人数：1回50名まで(ギャラリートークの場合) ※それ以上の人数はガイダンスやレクチャー形式などでご相談に応じます。

料金：幼稚園、保育園、小学校、中学校：プログラム費無料、入館料無料

高等学校：プログラム費無料、入館料1人500円

大学、専門学校：プログラム費無料、入館料1人1,000円 ※引率者はいずれも無料

注意事項：

*会場混雑やスケジュール等の事情により、ご希望に沿えない場合もあります。ご了承ください。

*館内には昼食をとる場所はありません。

プレスリリース

広報お問い合わせ 「宇宙と芸術展」広報事務局 担当：金、森、浜木

Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE_ART@vectorinc.co.jp

お問い合わせ: 電話、FAXまたはメールにて下記項目をお知らせください。

*学校名、学年、人数、ご連絡先

*ご希望の来館日時(複数の候補日をお知らせください)

森美術館 パブリックプログラム

電話: 03-6406-6101(月~金: 11:00-17:00) FAX: 03-6406-9351 e-mail: ppevent-mam@mori.co.jp

・出演者は予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

パブリックプログラムに関するお問い合わせ: 森美術館 パブリックプログラム

Tel: 03-6406-6101(月~金: 11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: ppevent-mam@mori.co.jp

関連情報

■ 音声ガイドに、宙ガール・篠原ともえ

学生時代に天文部に所属し、2014年には「宙(ソラ)ガール」として広く知られ、星や宇宙好きとして注目を集める篠原さんが、音声ガイドとして、宇宙をテーマにジャンルを超えた出展物が集まる本展の魅力を語ってくださいます。

ナビゲーター: 篠原ともえ

ガイド件数: 全20件+ボーナストラック2件 **解説時間:** 約35分/貸出料金550円(税込)



篠原ともえ

1995年歌手デビュー。歌手のほかにタレント、女優、デザイナー、音楽プロデューサーなど幅広い活動を行っている。1990年代末に個性的なファッションと強烈なキャラクターで、「シノラー」ブームを巻き起こした。2011年には天文宇宙検定3級に合格し、星空博士の称号を取得。雑誌Lipsやananでの天文学に関する連載をはじめ、2012年からTOKYO FMの天文ラジオ番組「東京まちかど☆天文台(現在は東京プラネタリー☆カフェ)」にてレギュラーパーソナリティーを務め、2014年には「小惑星Shinohara」(小惑星番号14555)が国際天文学連合で学術名として正式登録された。

著書には、自ら撮影した天体写真や自筆の星座イラストをふんだんに使い、星の見つけ方と星座について書かれた「宙ガール☆篠原ともえの「星の教科書」がある。「宙ガール*」として広く認知されており、Amazonの天文チャートで1位を記録、天文学の普及活動も積極的に行っている。

*「宙ガール」は株式会社ビクセンの登録商標です。

*なお、チームラボ新作の音声ガイドは、代表取締役 猪子寿之が解説を担当し、作品の魅力を語ります。

■ 展覧会カタログ

執筆者: 南條史生(森美術館館長)、椿 玲子(森美術館アソシエイト・キュレーター)、

笠 覚暁(金沢工業大学ライブラリーセンター館長)、

のり川泰宣(宇宙航空研究開発機構[JAXA]名誉教授)、

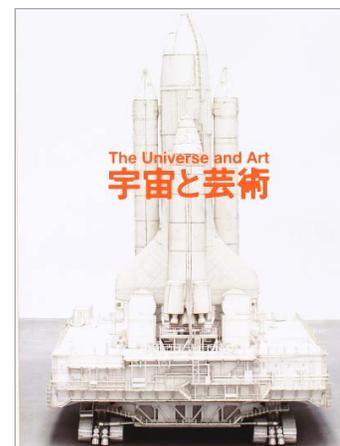
アルベルト・ロッカ(アンブロジーアーナ図書館・絵画館館長)

サイズ: A4変型(28.2 × 21 cm) **頁数:** 320頁 **言語:** 日英バイリンガル

価格: 3,000円(税込)

制作・発行: 森美術館/株式会社平凡社

発売日: 2016年7月28日



プレスリリース 広報お問い合わせ 「宇宙と芸術展」広報事務局 担当: 金、森、浜木

Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE_ART@vectorinc.co.jp

■ 展覧会オリジナルグッズ

「宇宙と芸術展」の特設ショップが、会場内に登場します。宇宙や現代美術ファン必携のオリジナルグッズを多数ご用意しておりますので、展覧会にあわせて是非ご注目ください。

※ご紹介する商品価格はすべて税込みです。 ※一部商品は、開幕以降に順次販売予定

江戸時代にUFOがやってきた!? 「うつろ舟」をオリジナルデザインで販売

セクション3に登場する「うつろ舟の蛮女」は、江戸時代後期、常陸国(現在の茨城県)の海岸に不思議な船が漂着し、美しい女性(=蛮女)が乗っていたという事件を描いています。この「うつろ舟」をデザインした様々なグッズを取り揃えました。

トートバッグ ¥2,808、ハンカチタオル ¥864、
SIGGボトル(グリーン/ホワイト) 各¥3,996、フローティングペン ¥1,080、
マスキングテープ ¥432、どんぶり ¥2,916、Tシャツ(下記参照)



シャツやバッグのデコレーションに最適! 本展オリジナル「ミッションワッペン」

宇宙服を飾る国旗やプロジェクト名のワッペン。本展では、直径約10cmの大判サイズのオリジナル「ミッションワッペン」をご用意しました。胸につければ、今日からあなたも宇宙飛行士?

宇宙展オリジナルワッペン 各¥918



注目展示品の数々をデザインしたTシャツ



1. 《ザ・クローラー》Tシャツ 各¥3,888
〈メンズ3サイズ、レディース2サイズ 2色(ホワイト、ブラック)展開〉
2. 《ザ・ルーキー》 Tシャツ 各¥3,888
〈メンズ3サイズ2色、レディース2サイズ 3色展開〉
3. 《セクシーロボット》(グラデーション/ノーマル) Tシャツ 各¥3,888
※写真はグラデーション
〈メンズ3サイズ、レディース2サイズ グラデーションのみ2色(ホワイト、ブラック)展開〉
4. 宇宙と芸術(左:宇宙飛行士/右:六本木ヒルズ) Tシャツ 各¥2,592
〈宇宙飛行士:メンズ3サイズ2色、レディース3サイズ2色展開〉
〈六本木ヒルズ:メンズ3サイズ2色、レディース3サイズ1色展開〉
5. 「うつろ舟」Tシャツ 各¥2,592
〈メンズ3サイズ2色、レディース3サイズ1色展開〉

プレスリリース

広報お問い合わせ 「宇宙と芸術展」広報事務局 担当:金、森、浜木

Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE_ART@vectorinc.co.jp

世界的に高く評価されているイラストレーター 空山基の《セクシーロボット》オリジナルグッズ



A4メタルインデックス付クリアファイル ¥540、
トートバッグ ¥3,780、ノート ¥1,080、グラス ¥1,944、
フローティングペン ¥1,080、Tシャツ(前頁参照)

太陽系の惑星の大きさをそれぞれ色で表した 「水金地火木土天海」



フローティングペン ¥1,080、マグカップ ¥1,512、
マスキングテープ ¥432、ハンカチタオル ¥864

その他オリジナルグッズ

- ・ガリレオ・ガリレイ《水彩による月の位相の素描》: A4クリアファイル ¥378、ノート ¥1,080
- ・トム・サククス《ザ・クローラー》: 缶入りクッキー ¥1,080、A4クリアファイル ¥378、トートバッグ(ブラック/ホワイト) 各 ¥3,780、
絵皿 ¥2,376、手ぬぐい(レッド/ホワイト) 各 ¥799、ノート ¥1,080、ステッカー ¥648
- ・パトリア・ピッチニーニ《ザ・ルーキー》:
A4クリアファイル ¥378、マルシェバッグ ¥3,996、ノート ¥1,080
- ・《竹取物語絵巻》(第三巻): A5Wクリアファイル ¥432、絵皿 ¥2,160
- ・ヴァンサン・フルニエ《火星砂漠研究基地#11》: A5Wクリアファイル ¥432、絵皿 ¥2,376
- ・ヴォルフガング・ティルマンス《EPO Paranal》: ノート ¥1,080
- ・宇宙と芸術: ステッカー ¥648、
ワッペントート(ナチュラル/ネイビー) 各 ¥2,808、コインチョコ ¥972
- ・出展物ポストカード: 30点 各 ¥162
- ・ポストカード2枚組《両界曼荼羅》(三室戸寺1、2)、
《熊野歎心十界曼荼羅》(甲乙本): ポストカード2枚組 各 ¥324
※会期を分けて展示される作品を2枚セットにしました。
- ・出展物アクリルキーホルダー: 12種 各 ¥1,080
- ・出展物缶バッジ: 10種 ¥540
- ・宇宙藻: キャンディ ¥540、クッキー ¥540



関連商品に関するお問い合わせ: 森美術館 ミュージアムショップ

Tel: 03-6406-6118 営業時間: 10:00-22:00(祝日を除く火曜日は17:00まで) ※美術館の開館時間に準ずる

プレスリリース

広報お問い合わせ 「宇宙と芸術展」広報事務局 担当: 金、森、浜木

Tel: 03-5572-7351 Fax: 03-3584-0727 E-mail: UNIVERSE_ART@vectorinc.co.jp

[同時開催] 会期：2016年7月30日(土)－2017年1月9日(月・祝)

MAM
SCREEN

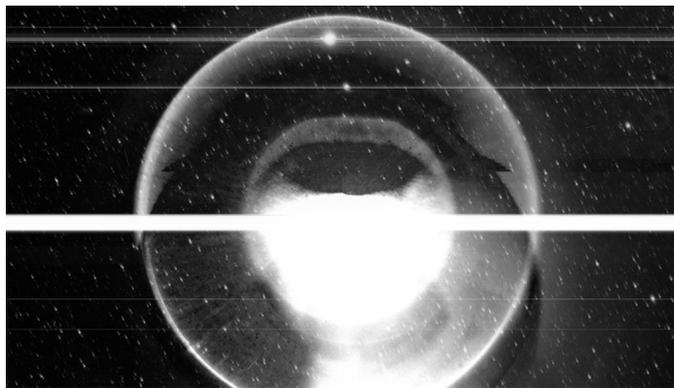
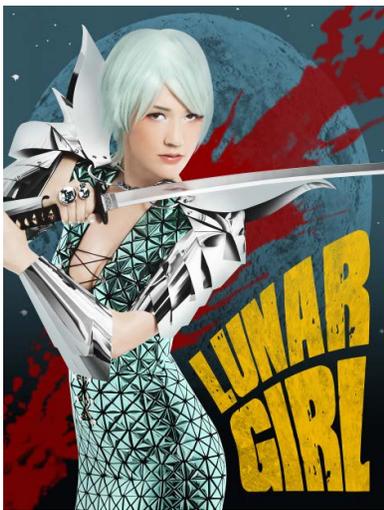
MAMスクリーンは、世界の多様な映像作品のなかから選りすぐりの
シングル・チャンネル作品を上映するプログラムです。

MAMスクリーン004:宇宙から地球を観る

主催：森美術館

企画：椿玲子(森美術館アソシエイト・キュレーター)

「MAMスクリーン004」では、「宇宙と芸術展：かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ」と連動したシングル・チャンネル映像作品プログラムを開催します。宇宙を通じて現代の人間社会を俯瞰し、地球を宇宙的な視座で見つめ直すことで、地政学やジェンダーの問題、異星人という言葉の持つ意味などについて考えます。それぞれの作家の視点にとらえた宇宙観が、スクリーンの上に生き生きと展開される、必見のプログラムです。



セミコンダクター
《黒い雨》
2009年
シングルチャンネル・ビデオ
3分

スプツニ子！
《ムーンウォーク☆マシン、セレナの一步》 2013年 ビデオ 5分4秒
撮影：Rai Royal 画像提供：SCAI THE BATHHOUSE

MAMスクリーン 上映作品

前期 (2016年7月30日－10月18日)

1. 山本高之 《Facing the Unknown》 2012年 13分59秒
2. セミコンダクター 《黒い雨》 2009年 3分
3. トム・サックス 《スペース・キャンプ》 2012年 6分26秒
4. シェザド・ダーウッド 《可能性に向かって》 2014年 19分20秒
5. スプツニ子！ 《ムーンウォーク☆マシン、セレナの一步》 2013年 5分4秒
6. 瀬戸桃子 《プラネットA》 2008年 7分40秒
7. NHKエデュケーショナル 《美しい太陽系》 2016年 5分35秒

後期 (2016年10月19日－2017年1月9日)

1. ホー・ツーニエン(何子彦) 《ニュートン》 2009年 4分16秒
2. トム・サックス 《スペース・プログラム》 2007年 12分9秒
3. 牧野 貴 《Space Noise》(ショート・バージョン) 2016年 8分25秒
4. アレクサンドル・モベール 《トリニティ(三位一体)》 2015年 17分40秒
5. ジャン・ワン 《月面経済特区》 2014年 4分20秒
6. 瀬戸桃子 《プラネットZ》 2011年 9分30秒
7. NHKエデュケーショナル 《美しい太陽系》 2016年 5分35秒

*企画展・パブリックプログラム等実施のため、「MAMスクリーン」上映がない時間帯があります。
上映スケジュールは、森美術館ウェブサイトをご覧ください。 www.mori.art.museum

プレスリリース お問い合わせ 森美術館 担当：瀧、成田

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

MAM
RESEARCH

MAMリサーチは、アジアの現代美術を中心に特定の作家や動向に着目し、歴史的、社会的な文脈とともに考える資料展示です。

MAMリサーチ004：ビデオひろば—1970年代の実験的映像グループ再考

主催：森美術館

企画：近藤健一(森美術館キュレーター)

協力：中谷芙二子、阪本裕文(稚内北星学園大学准教授)

「ビデオひろば」は1972年に結成され、ビデオを使って実験的で越境的な活動を行った日本のグループです。中谷芙二子、山口勝弘、かわなかのぶひろ、小林はくどう、松本俊夫、萩原朔美、和田守弘ら、多数のアーティストやクリエイターが参加しました。当時最新のメディアであったビデオをコミュニケーションのツールとし、メンバーが協働して社会運動に介入したり、ビデオを介して一般市民の議論を促進するなど、その活動は、既存のマスメディアに対するオルタナティブなメディアの創造を目指した、ユニークなものでした。また、会報誌を発行し意見交換や活動報告を行い、ビデオカメラ等の機材を安価で貸し出すなど、実験的な試みも行いました。グループ解散後も、メンバーの多くは第一線で作家活動を継続し現代美術や実験映像に大きな影響を与えました。



像に大きな影響を与えました。

本展は、「ビデオひろば」の活動紹介や、グループを理解するためのキーワード解説、主要メンバーの映像作品や記録映像に加え、写真、書籍、資料等を多数展示し、その活動を今日の視点で再検証する試みです。

展示風景：「ビデオコミュニケーション DO IT YOURSELF Kit」
ソニービル、東京、1972年
写真：マイケル・ゴールドバーグ

🔗 展覧会関連パブリックプログラム

■ トークセッション「ビデオひろばが今日に残したもの」 ※日本語のみ

本展の調査協力に携わった実験映像研究者の阪本裕文氏と、映像作家の藤井光氏、瀧健太郎を迎え、「ビデオひろば」の活動や思想が今日の現代美術、実験映像にどのように継承されているか、考察します。

出演：阪本裕文(稚内北星学園大学准教授)、藤井光(アーティスト)、瀧健太郎(アーティスト)

モデレーター：近藤健一(森美術館キュレーター)

日時：2016年12月6日(火) 19:00-21:00(受付開始：18:30)

会場：森美術館オーデトリウム 定員：80名(要予約) 料金：無料

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

* 森美術館は17:00で終了し、17:30よりお申し込みいただいた方のみ再オープンします。

* プログラム開始前(18:30-19:00) およびプログラム終了後(21:00-22:00)、本プログラムにお申し込みいただいた方のみMAMリサーチ004をご鑑賞いただけます。なお森美術館の他の展示はご覧いただけません。

パブリックプログラムに関するお問い合わせ：森美術館 パブリックプログラム

Tel: 03-6406-6101(月~金: 11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: ppevent-mam@mori.co.jp

プレスリリース お問い合わせ 森美術館 担当：瀧、成田

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

MORI ART MUSEUM